



意志あるところに道は拓ける

校長 田中 正樹

令和4年度の1学期、皆さんにとってはどんな学期だったでしょうか。1年生は新学習指導要領のもと科目が新しくなるとともに、一人1台端末が導入され、新しい学びのスタイルが始まりました。今までの高等学校教育にはない、新しい形の教育の始まりです。令和3年1月に出された中央教育審議会の答申によると、「令和の日本型学校教育」のめざす姿は、「すべての子ども達の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」にあるそうです。「個別最適な学び」と「協働的な学び」という異なる学びを両方実現させていくために教員側も更なる研鑽に励む必要に迫られています。

学校全体としてはどうだったでしょうか。4月中旬～5月初旬にかけて、部活動を中心に新型コロナウイルスの感染が拡大し、対応に追われる日々が続きました。4月末には新型コロナウイルス感染拡大を防止するための臨時休校も実施しました。その後に続く県総体も無事開催できるか非常に心配していましたが、最終的には一人の新規感染者も出さず県総体の全日程が無事終了しました。しかも、県内で25校あるAグループの高校の中で第5位という好成績で。総体報告会で「やるときはやる東高生」と言いましたが、本当にそう感じたところです。

さて、昨年2学期の始業式で、上定松江市長の「高校生だからここまで勝手に限界を決めたりせず、突き抜けるような取組をしてもらいたい」という言葉を生徒の皆さんに紹介しました。これは、上定氏のご経験から出た言葉で、アメリカでは限界を作らずに取り組むことは当たり前ですが、日本では「高校生だから」とか、「自分はどうせ・・・だから」とかいうように、どうしても自分で限界を決めてしまい、挑戦する心を抑えてしまう傾向があるという問題意識から発せられたと私は思っています。先日、昨年に続くキラボシプロジェクトが企画され、本校からは10組の生徒さんが挑戦してくれました。また、川津公民館での夏休みの居場所づくり活動や川津小学校児童ボランティア、さらに昨年に続くフラワープロジェクトの活動に対して、昨年にも増して多くの東高生が参加してくれています。「社会に対して自分に何ができるか」という思いのもと、積極的に行動に移そうとする東高生の姿に、「地域を共に創るハート」が感じられ、頼もしく思っています。

松江東高校は、このような地域連携、それから高大連携など、いろいろな連携を構築し、生徒の皆さんの挑戦する機会をたくさん用意している学校です。今年からは、STEAM教育特化型プロジェクトの指定を島根県教育委員会より受けています。これは年間100万円の支援を受ける理系わくわくプロジェクトで、島根大学の研究室と直接つながるプログラムも実現可能です。先日実施したEASTサイエンスデイや8月初旬に行う隠岐研修もこのプロジェクトの一環です。また、三菱みらい育成財団より、本校の「地域共創人育成Project」に対して、今年から3年間ですが、年間200万円の支援を受けることが決まりました。助成対象は、カテゴリー1「高等学校等が実施する『心のエンジンを駆動させるプログラム』」で、本校のテーマは、「地域共創人育成Project アドバンスト～子どもも育つ 大人も育つ 地域共創の拠点づくり～」です。

このような支援を受けながら、生徒の皆さんが望めば、様々なところとつながり、いろいろな道が拓かれます。先日、自分の企画に大学の留学生を招待したいという生徒さんが校長室を訪ねてきましたので、島根大学国際センターの青先生に連絡をとりました。その後、生徒さんが直接、青先生に電話し、さらに大学の研究室に出かけて対面で説明し、企画の実践につなげることができました。この生徒さんには自分の企画を実現する意志と大学に出かけて説明するという行動力があつたからこそ、新しい道が拓かれたと思います。「意志あるところに道は拓ける」という言葉もありますが、ぜひ、自分なりの目標を持ち、自分の可能性を信じて歩んで欲しいと思います。

東高の魅力を創ろう！伝えよう！

1 年生の「総合的な探究の時間」がスタートしました。「総合的な探究の時間」は、東高の特色である「地域共創人育成Project」の中心的な授業です。

1 年生の 1 学期は、探究活動を身につけるため、「東高」をお題に探究活動の「いろは」を学んでいきます。 中学校を卒業し、あたらしい仲間との出会いやチームで力を合わせての活動に、ワクワクしながら活動する様子が見られました！



探究活動のスタートは、アイデア探しでした。教室で説明を受けたら、あとは自由に校舎内を散策。東高にどんな、ヒト・シゴト・コトがあるのか、たくさん見つけることができました。

お次のステップは、アイデアの分類です。アイデアの中から自分達にぴったり合うテーマを探すための大事な活動です。グループのメンバーで対話を繰り返しながら、テーマを見つける姿はとても立派でした。

1 年生のチームワークは、バッチリ！！です。



生徒たちが発見した 東高の魅力 探究テーマ一覧

ETC (EAST Test & Check)、学校内や近隣の施設、学食、探究学習、島根大との連携、東雲祭、部活動、屋上、先生、職員（先生以外）、食堂、図書館、校歌、庭園、生徒会、研修旅行、校内の掲示物、階段、校舎の形、購買、入学者

これから3年間の探究活動を通して、生徒たちは自分たちの「学びのタネ」を大きく育てていきます。

大学生や地域の企業・団体の方との 地域共創ミーティング開催！

「地域を笑顔にするためのアクション！を起こす」。EAST地域探究では、一人ひとりの生徒が活動を行います。5/18 には企業の方や大学生をお招きして、キックオフミーティングを開催しました。この授業を選択している10名の生徒たちが、4月から温めてきたアイデアを堂々と発表していました。また、社会人や大学生からのたくさんの質問にも丁寧に答えてました。

今回のミーティングで、プロジェクトの具体性がさらにレベルアップしました。これからも、たくさんの人と対話を繰り返しながら、アクションの計画を立てていきます。



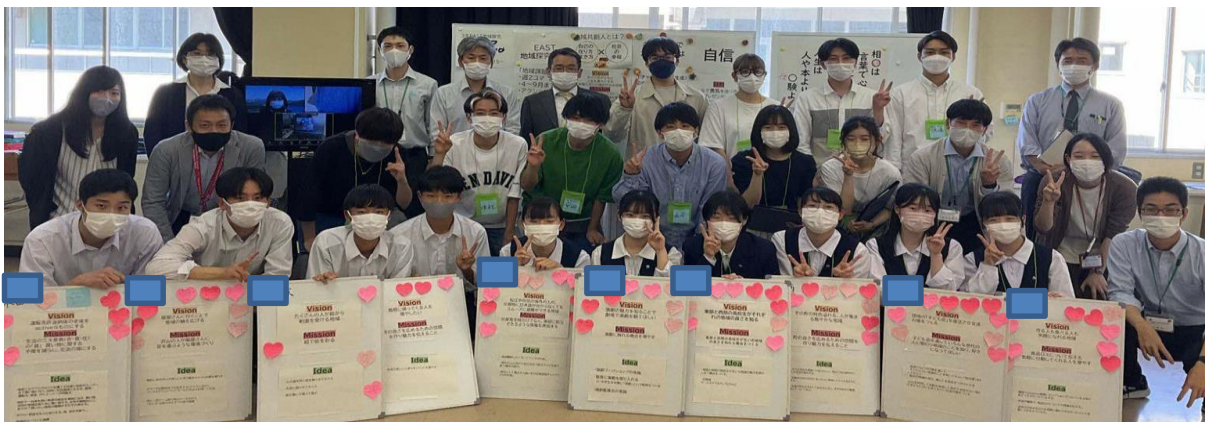
1つの大きな輪になってスタート



顔が見える対話が大切ですね。



資料を使いながら、説明中！！



地域の方や大学生からたくさんのコメントふせんをいただき、
自信ができました！！

東高アラカルト

～高校総体 完全燃焼！～



令和4年度 島根県高校総体

Aグループ：男女総合5位

男子総合7位

女子総合6位



優勝

剣道部：女子個人（3年錦織）

ボート部：舵手付クォドルプル（男・女）、ダブルスカル（女）

アーチェリー部：女子団体、女子個人（3年田村）

準優勝

剣道部：女子団体

男子バスケットボール部、女子バスケットボール部

アーチェリー部：男子個人（1年森脇）

（体操女子個人（1年山本））

第3位

剣道部：男子団体

ベスト8

サッカー部



★このほかにも多くの生徒が活躍しました！

【行事予定 2022年】

主な行事予定

【8月】

- 1日 3年夏期特別講座（～5日）
- 12日 閉庁日
- 15日 閉庁日
- 18日 3年全統模試（～19日）
- 22日 始業式
- 26日 1,2年全統模試

【9月】

- 1日 東雲祭（～3日）
- 5日 週休日振替（9/3）
- 6日 3年中期講座（～12/16）
- 8日 ETC④
- 9日 3年進研M（～10日）
- 10日 土曜講座②（1年生スタサポ）
- 12日 秋の交通安全街頭指導（～15日）
- 20日 試験発表
- 27日 中間試験（～10/1）
- 29日 週休日振替（10/1）

【10月】

- 1日 中間試験
- 3日 生徒会長選挙公示
- 5日 1,3年生遠足
- 5日 2年生東京研修（～7日）
- 7日 3年進研記述（～8日）
- 8日 1,2年生希望者模試
- 14日 3年全統記述（～15日）
- 17日 防災避難訓練
- 19日 ETC⑤
- 21日 3年全統M（～22日）
- 24日 立会演説会・生徒会長選挙
- 31日 生徒総会

島根県立松江東高等学校

〒690-0823 島根県松江市西川津町510番地

TEL: 0852-27-3700(代表) FAX: 0852-27-3703

HPアドレス <https://www.matsuehigashi.ed.jp/>

学校だより「EAST NEWS」(カラー版)はホームページにも掲載しています。バックナンバーもありますので、ぜひご覧ください!!

編集・発行 松江東高校 総務部